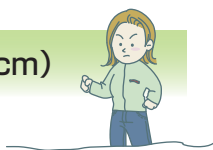


避難の心得10カ条

1

歩ける深さは膝下まで(約50cm)



2

足元に注意!



3

お年寄りや身体の不自由な人を優先に



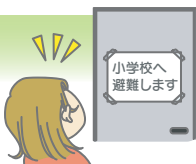
4

持ち出し品は最小限に!



5

外出中の家族には連絡メモを!



6

避難は徒歩で!車やオートバイは厳禁!



7

高齢者や子どもの手はしっかり握って!



8

近所の人たちと集団でまず決められた集合場所へ!



9

避難場所へ移動するとき、狭い道・塀ぎわ川べりなどは避ける!

10

避難場所に着いたら住所・名前の報告を!

水防サイレン

台風、大雨、高潮などによる被害が予想される場合や、実際に被害が発生した場合に、防災用の水防サイレン(柳川市消防本部より市内19箇所)が吹鳴されます。

これは、市民の皆さんに注意を促し、警戒あるいは避難していただくためのもので、サイレンの信号音には次のような意味があります。いざというときに備えて覚えておきましょう。

種別	サイレン信号	意味
第1信号 (警戒信号)	サイレン 5秒 休止 15秒 ×3回	河川の水位が「はん濫注意水位」に達しました。
第2信号 (水防機関 招集信号)	サイレン 5秒 休止 6秒 ×3回	水防団員や消防機関の人は全員出動してください。
第3信号 (水防機関 招集信号)	サイレン 10秒 休止 5秒 ×3回	当該水防管理団体の区域(被害が想定される区域)内に居住する人は水防の応援に出動してください。
第4信号 (避難信号)	サイレン 60秒 休止 5秒 ×2回	必要と認められる区域に居住する人は、すみやかに避難してください。